1. 授業の概要(ねらい)

「中国美術の歴史－故宮博物院の文物を中心に－(2)」
北京と台北の故宮博物院は、中国4000年の歴史をものがたる、文化財の宝庫です。この授業では、春期にひきつづき、双方が所蔵する名品を映像で鑑賞しながら、中国の文化・歴史・社会の本質をかんがえていきましょう。

2. 授業の到達目標

- 1、美術を中心とする、中国の通史が理解できる。
- 2、中国における、文化財の政治的意義が理解できる。

3. 成績評価の方法および基準

LMSに出す課題への解答内容を基本とし、期限厳守の度合いと出席状況(LMS履修続行者は閲覧状況)を加味して行います。

4. 教科書・参考文献

参考文献

板倉聖哲ほか 『NHKスペシャル故宮－流転の名品を知る 美を見極める』(2014年) NHK出版
野嶋 剛 『故宮物語－政治の縮図、文化の象徴を語る90の話』(2010年) 勉誠出版

5. 準備学修の内容

『故宮物語－政治の縮図、文化の象徴を語る90の話』は図書館の指定図書にもしておきましたので、授業期間中に各自一読しておくこと。

6. その他履修上の注意事項

※秋期からの新規履修者へ 秋期第1回課題は、春期第11回・12回の内容からの出題ですが、高校世界史教科書レベルのことですので、五胡十六国時代と北朝について、自習して臨んでください。

※春期からの継続履修者へ 上記のように、秋期からの新規履修者に配慮して、春期第11回・12回内容からの出題は、高校世界史教科書レベルのものを出します。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス、春期内容の振り返り、および春期第11回・12回からの課題出題
- 【第2回】 NHKスペシャル「故宮6 長安の春－隋・唐－」(1)
南北統一と多様な文化
- 【第3回】 「故宮6」(2)
花開く国際色
- 【第4回】 「故宮7 大唐の落日－唐・五代－」(1)
安史の乱と顔真卿の悲劇
- 【第5回】 「故宮7」(2)
質実と洗練の時代へ
- 【第6回】 「故宮8 夢の都・開封－北宋－」(1)
風流天子・徽宗
- 【第7回】 「故宮8」(2)
徽宗の功罪
- 【第8回】 「故宮9 美は江南にあり－南宋－」(1)
政治的敗北と社会・文化の繁栄
- 【第9回】 「故宮9」(2)
陶磁器と絵画
- 【第10回】 「故宮10 亡国の文人たち－元－」(1)
モンゴルの国際色
- 【第11回】 「故宮10」(2)
漢族文化の継承と新展開
- 【第12回】 「故宮11 紫禁城風雲録－明－」(1)
永楽帝と紫禁城
- 【第13回】 「故宮11」(2)
華麗なる宮中文化
- 【第14回】 「故宮12 最後の王朝－清－」(1)
少数民族の苦闘と乾隆帝の偉業
- 【第15回】 「故宮12」
故宮文物の集大成